

身近な 特定外来生物の駆除に ご協力ください！

問 農林環境課 ☎ 43-9023

オオキンケイギク、ナガミヒナゲシ、クビアカツヤカミキリ

「特定外来生物」とは？

外来生物とは、人間の活動によって本来の生息地以外の地域に持ち込まれた生き物のことをいいます。そのうち、自然環境や人の生命・身体、農作物などに被害を与える、または与えるおそれのある生き物は、「外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）」に基づき指定されています。

合言葉は、

「入れない」「捨てない」「^{ひろ}拡げない」

特定外来生物はいずれも繁殖力が強く、放っておくと与謝野町の貴重な在来種や自然環境、景観が破壊されます。また、一度増えると駆除するにはたくさんの労力や時間が必要になります。外来生物被害予防三原則の「入れない」「捨てない」「拡げない」を守り、特定外来生物の駆除活動にご理解とご協力をお願いします。

身近に潜む「特定外来生物」

オオキンケイギク



種子が多く、生育も早いため大群落を形成し、在来植物の生育環境を奪ってしまいます。一見きれいに見えますが根っこから抜き取り、可燃ごみの袋に入れてごみ集積場所に出してください。

駆除

多年草で、根から駆除しないと翌年も実を付け花が咲きます。地上部の刈り取りを繰り返すのも効果がありますが、見つけたら種をつける前に抜き取りましょう。

ナガミヒナゲシ



丸みのあるオレンジ色の花を咲かせるのが特徴で、在来植物の生育阻害などの影響が懸念されています。見つけた場合はかぶれるおそれがありますので必ず手袋などを着用し、可燃ごみとして処分してください。

駆除

微量でも強力な生理作用（麻痺・嘔吐・呼吸停止 など）を起こす植物毒「アルカロイド」が含まれており、皮膚がかぶれることがありますので、肌の露出が少ない格好で駆除しましょう。

クビアカツヤカミキリ



サクラやモモ、ウメ、スモモなど、バラ科の樹木に寄生し、幼虫が樹の内部を食べて枯らしてしまう外来のカミキリムシです。前胸部（首のように見える部分）が赤いのが特徴。

駆除

見つけたら逃さず捕殺しましょう。なお、見つけた場合は役場農林環境課環境係までご連絡をお願いします。